日本脳性麻痺の外科研究会誌 投稿規定

平成 28 年 10 月 29 日改定

1. 主著者は原則として日本脳性麻痺の外科研究会の会員であること。
2. 研究会誌に掲載された論文の著作権は、日本脳性麻痺の外科研究会に帰属する。
3. 倫理的配慮について

   本誌に投稿される論文における臨床研究は、ヘルシンキ宣言を遵守したものであること。患者の名前、イニシャル、病院での患者番号、生年月日、手術日、入院日など、患者の同定を可能とする情報を記載してはならない。
4. 原稿の第 1 頁に、題名、著書名、所属、キーワードを以下の順で記す。
   (1) 題名(和文)
   (2) 著者名(和文)
   (3) 題名(英文)
   (4) 著者名(英文)
   (5) 所属(日本語と英語を併記)
   (6) キーワード(日本語と英語を併記) (3～5 個)
5. 400 字以内の和文要旨または 200 語以内の英文要旨を付す。
6. 文献は以下の記載方法に従う。
   (1) アルファベット順とする。
   (2) 本文中に見出し番号を上付きで入れる。
   (3) 記載例。

   ＜雑誌＞

   1. 松尾 隆，元 豊彦，福元真一，神前智一，菅野徹夫，菅沼悦子，森田定雄，坂本公宣，池田啓一，下河辺征平．脳性麻痺の痙性，固縮，アテトーゼ不随意運動に対する整形外科的選択的緊張筋解離術．脳性麻痺の外科研究会誌 1998；8：38-39.
   2. Matsuo T, Hara H, Tada S. Selective lengthening of the psoas and rectus femoris and preservation of the iliacus for flexion deformity of the hip in cerebral palsy patients. J Pediatr Orthop 1987; 7: 692-698.

   ＜単行本(複数著者)＞

   3. 原 寛道．脳性麻痺．杉岡洋一，岩本幸英，編．神中整形外科，上巻，22 版．東京：南山堂；2004：695-714.
   4. Dutkowsky JP. Cerebral palsy. In: Canale ST ed. Campbell's Operative Orthopaedics, 9th edition. St. Luis: Mosby; 1998: 3895-3969.

   ＜単行本(単一著者)＞

   5. 松尾 隆．脳性麻痺と機能訓練：運動障害の本質と訓練の実際，第 2 版．東京：南江堂；2002：1-47.

Presented by Medical*Online

6. Matsuo T. Cerebral Palsy. Spasticity-control and Orthopaedics. An Introduction to Orthopaedic Selective Spasticity-control Surgery. Tokyo: Soufusha; 2002: 129-148.
7. 図および表を明確に区別し、図には説明文をつける。
8. 本文原稿および表は用紙に印刷したもの、および、CD に保存したものの両方を提出する。
9. 図はそのまま製版できる鮮明なもの、および、CD に保存したものの両方を提出する。
10. 掲載料・別冊料金

仕上がり6頁まで無料。それを超えた場合は、1頁につき2,000円を著者が負担する。なお、質疑応答も論文に含めて計算する（第 9, 13, 18 回脳性麻痺の外科研究会総会議決事項）。

別冊は 20 部 1 単位で 3,000 円を著者が負担する。

11. 締め切り

研究会終了日より2ヵ月以内に提出する。

問い合わせ先および送り先

〒920-3114　石川県金沢市吉原町ロ6番地2
金沢こども医療福祉センター内
日本脳性麻痺の外科研究会事務局　櫻吉啓介
電話 076-257-3311　Fax 076-257-3394
e-mail　sakurarakichi_k@yahoo.co.jp

Presented by Medical*Online